

公表:令和 5年 3月 20日

10名

事業所名 kidsプチとまと

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	2		広さに合わせた活動を行っている	活動内容によっては狭くなる場合もある。引き続き工夫して行っていく。感染状況によるが体育館等も使用できるようにしていきたい。
	② 職員の配置数は適切であるか	2	8		個別時の対応が出来るよう意識すると足らなくならないようにしている。	国の基準では10人に2人支援員ともう一人の加配の計算で基本的には行っている。個別にて療育支援を行っていく場合、相談検討の上支援員増員を行う。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	4		扇風機やマットなど危険性のあるものに関しては、パーティションをして仕切り・触れられないように配慮している。	バリアフリーである。療育道具の場所は固定。写真・スケジュールなどで療育内容を伝える。登所からのルーティーンを毎日教えて動線を覚えてもらっている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	1		清掃は毎日行い、週2回は床の消毒も行っている。ジアイーノを設置している	手洗いの回数が増えたので洗面台が汚れやすくなったので、細目に清掃することを心がける。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	7		支援員も含めてケア会議を行っている。	デイ会議を行うようになりモニタリングがしやすくなった。PDCAサイクルの周知を勉強会含めて行い支援員間の情報共有の徹底を行っていく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1		保護者様からのご意見は公表時に行う予定	新規利用者さまには、契約時に閲覧をお願いする。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	4		結果を施設内に掲示し、閲覧してもらう。	毎年、天恵園のホームページに掲載しています。掲載した際にはお知らせにて保護者に伝えている。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	5			行っていません。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			スタッフミーティングや研修を行っている。	定期的な会議と虐待防止講義やてんかん発作についての研修や講義等行っている。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	1		保護者様に伺って作成している。	個々の発達段階においてプログラムの実施を行う。固定化しない様、いくつかのパターンを用意する。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	5		アセスメントツールをしようして支援計画書を作成している。	モニタリング記録を年2回作成し、個別支援計画書を立てる。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	3		本人を取り巻く状況に応じた支援を行っている。	面談により、家族・本人の意向を聞き取り、個別支援計画を考えている。小学校進級や放課後等デイサービス利用にあたり、必要に応じて学校うあデイサービスに引継ぎ所などの情報提供を行っている。
⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	4		会議において支援内容の確認しながら支援している。	課題)勤務時間中、支援計画書を確認する時間がない為、計画に沿った支援が行われているか不安になる。改善)いつでも閲覧できるようになっていることもあり閲覧する時間をお昼寝の時間あたりに取ってもらうように検討。1日で全部読むのは難しいと思うので、自分が関わっている児童から順次読んでいただきたい。支援計画内容を全員が把握し、確認しあいながら共通認識を持って支援していく。	

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	5	1	活動のプログラムを考案し、提示している。	日々活動内容が変わっている。フラワーワークショップ、お絵かき、ハートサイロダンス、音楽療法の日の活動日は決められているが、その他の活動に関してはその日ごとに決めていることが多い。子供たちが登所してからレゴ遊びなどしているときに『今日は〇〇と▲▲をする』などの報告をしていくことによって支援員や児童にお知らせしていく	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	4		プログラムが固定しない様考案し固定化しないようにしている。	個別療育内容を写真にして視覚化し、スケジュールボードを使用しいくつかのパターンを用意し取り組んでもらっている。 (本人の写真とネームでボードで確認。) 集団活動に関してはその日に決定をする。これにより急な変更などにも対応できるようになる	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	8		1	週2回・2名づつ機能訓練を取り入れ支援計画を行っている。	個別活動の時間の後に、集団活動を行っている。個別活動はマンツーマンで行わなくても個人でできるように支援していきます。集団活動に関しては児童にもよるが1部と2部では内容が異なるため、1部は集団活動に慣れる、2部はコミュニケーション取得と重視していくようにしていく。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	7	1	役割分担(担当)を決めるようにしている。	現在当日に決定することが多いため、今後は前日に決定できるようにしていく。また当日にも全員が集まった段階で分担確認をする時間をとるようにする。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	6	2	休憩時間を利用し、意見交換する。	特記事項等あった場合は、必ず日報に記入し、内容の確認を随時行う。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	6		支援内容は個別のおたより帳に記載している。	日報をつけている。記録に基づき支援内容を確認し、改善が必要な場合は改善をケア会議において話し合い修正を行っていく。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1		ケア会議において支援員の意見を取り入れる。親御さんと相談の上作成している。	月に1回の会議の中でケア会議を設けているが時間が短い。円滑に話し合っていけるよう対象児童をあらかじめ伝えておき、支援員の意見を取り入れて、保護者の意見や本人状況をふまえて計画書の見直しを行っていく。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	4		相談支援員からの依頼には応えるようにする	コロナの影響ということもあり担当者会議を行えていない。モニタリングの要請があった場合、管理者、児童発達支援管理者だけでなく対象児童に関わっている支援員からも聞き取りの協力はしていく。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	5		保健所、児童相談所、教育センターとの協力体制をしている	家庭の事情などにより児童相談所、就学に関して教育センターと連携を取っていている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	3		医療的ケアが対応できるようにしている。	現在医療的ケア児がいないため他機関との連携はないが、以前医療的ケア児がいたときには病院、児童相談所、行政と連携していた。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	3		医療的ケアが対応できるようにしている。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	1		地域の保育園や幼稚園との情報共有を図る	今年は児童全員にはできていなかったが、来年度は通園児童の訪問に尽力していきたい。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	6			昨年までは行っていなかったが、今年からは引継ぎ書を希望者には作成し、学校でも生かしてもらえるようにしていく。
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	3	相談支援事業者および東部地域療育センターと連携を密にして意見交換含めて対応。	コロナ禍の中で訪問することが行えていない。	

	⑳ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	5	3		今年はコロナウイルスの影響により交流会の開催が中止となってしまったが情報交換はしていきたい。
	㉑ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか		7	3		自治体の子供会などには参加できるように努めたい
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	2		保護者からの相談や意見があった時はすぐに対応できるようにしている。	おたより帳や電話などからの相談事にはすぐに対応していている。普段の様子はLineにて写真を送っている。普段の様子が保護者が知ることができるので喜ばれている。
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		8	1	保護者同志の交流を持たせていく	講演会を予定していたが、コロナの影響で中止となってしまった。機会をつくっていきたい。
保護者への説明責任等	㉔ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	3		閲覧しやすい様に施設の見やすいところに掲示。	運営規定と利用者負担については契約時に説明をする。
	㉕ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	1		保護者様が安心して利用できるような見学できるように伝えていく。	保護者、本人、園など関係機関からの聞き取りを行った上で児童発達支援計画を支援員と共有しながら作成している。そのうえでご説明し同意をいただいている。
	㉖ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	2		常時保護者からの相談を受け付けている。	定期的ではないが、常に相談には応じられるようにしている。
	㉗ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	2		保護者会の開催	コロナの影響で全員の方とお会いできなかったので、来年度は早めの日程を決める。
	㉘ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		相談や申し入れは出来る限り速く対応できるようにしています。	不備がないよう、対応し体制をととのえる。
	㉙ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1		毎月1回お知らせを配信しています。日々の活動はline配信しています。	多くの方に登録をお願いしている。デイでの様子を動画や写真を撮り登録して頂いた方にLineにて送っています。
	㉚ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	1		個人情報には、気を使っている。鍵付きの書庫に保管しています。	漏洩がないよう管理には十分気を付けています。鍵付き書庫にて保管しています。
	㉛ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1		保護者の気持ちを組み取り、情報伝達できるようにしている。	おたより帳の備考欄に保護者からのコメントが記載している場合は即日返信し、児童には絵カードや写真を使用して、情報伝達している。
	㉜ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	2		行事を行っていない。
	非常時等の対応	㉝ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	1	1	各種マニュアルを閲覧できるようにしている。
㉞ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		9		1	年2回総合避難訓練を行っている。	年に2回、水害・地震などを想定した総合避難訓練、施設内では月1度、不審者などを想定して避難訓練を行っている。
㉟ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		10			服薬等確認を必ずする	施設内のレターケースに利用者緊急時対応情報を保管し、いつでも確認できるようにしている。
㊱ 食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		8	2		食事時、特に注意をしている。エビペンの打ち方を講習受けている。	保護者より、アセスメントの聞き取りにてアレルギーの有無を確認し、スタッフにも周知確認している。

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	2		ヒヤリハット記録を行っている。	ヒヤリハットとはどういうことか会議で話し合い検討している。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1		虐待防止の研修を受けている。	スタッフに虐待防止チェックリストや虐待防止の研修に参加し、意識の向上をはかる。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	1		やむを得ない拘束をしてしまった場合には親御さんに状況説明をし、報告書を作成する。	やむを得ず、身体拘束をしてしまった場合は保護者への状況説明を行い報告書を作成する。常時に行う場合には個別支援計画遺書に記載し同意理解を得るようにする。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。